

第20回 日本言語聴覚学会 in おおいた 開催報告

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会
JCHO湯布院病院リハビリテーション科
学会長 木村 暢夫

学会テーマ

私たちの地域包括ケア ～言語聴覚士の専門性と人間力の融合～

会期 令和元年
6月28日(金)～29日(土)

会場 iichiko総合文化センター
全労済ソレイユ
大分県立美術館

令和元年6月28日、29日の2日間にわたり、第20回日本言語聴覚学会を大分県大分市のiichiko総合文化センター、全労済ソレイユ、大分県立美術館の3会場におきまして開催いたしました。

時折小雨の降る曇天の中、全国から1800名以上の方にご参加をいただき、大過なく盛会のうちに終えることができました。これもひとえに(一社)日本言語聴覚士協会の皆様をはじめ講師、座長の皆様、関係諸機関及び関連団体、企業様、当日運営スタッフとして協力いただきました大分リハビリテーション専門学校言語聴覚学科の皆様のお力添えのおかげと実行委員一同、感謝申し上げます。

今大会は「私たちの地域包括ケア ～言語聴覚士の専門

性と人間力の融合～」をメインテーマに特別講演、教育講演、シンポジウム、市民公開講座、第20回大会記念講演を企画いたしました。

現在、我が国は急速に少子高齢化が進み、医療介護機能の再編と地域包括ケアシステムの構築に向けた事業展開が進むなか、私たち言語聴覚士の活躍する場は病院や施設、学校領域から地域へと広がりを見せています。地域のニーズに柔軟に応えるためには、高度な知識・技術に基づいた言語聴覚療法の実践、当事者への充実した支援、さらには関係諸機関との連携・協働が鍵となります。そこで、これから地域に求められる言語聴覚士として、専門性の向上はもとより地域から信頼される専門職としても成長していきたいという思いを込めた内容としました。



特別講演は、京都大学の村井俊哉先生に「社会性という観点から心の病気と健康を理解する」、茨城県立健康プラザの大田仁史先生に「人間力のあるリハビリテーション専門職～言語聴覚士にとっての人間力とは何か～」についてご講演をいただきました。また、教育講演は「時代の期待に応える～今現場で求められる言語聴覚士の役割～」、「難聴乳児に“ケア・コミュニケーション”を」、「小児における特異な構音操作とアプローチ」、「加齢に伴う音声変化」、「行動神経学の診療における言語聴覚士との協働」、「RDI(対人関係発達指導法)を用いた療育支援」、「根拠のある摂食嚥下リハビリテーションの遂行」の7題、シンポジウムは「地域包括ケアシステムのこれまでとこれから」、「失語症のある人への専門性を活かした地域支援を考える」、「サルコペニアによる嚥下障害と老嚥、オーラルフレイルの理解」、「医科歯科連携のその後」の4題、そして市民公開講座では、「健康『聴』寿～100歳までの『認]活メソッド～」 「子どもの心とことばの育ち」の2題ご講演をいただきました。いずれも、私たち言語聴覚士の専門的分野における新しい知見やリハビリテーション専門職と

しての考え方について重要な示唆をいただくことができました。

さらに、第20回大会記念講演では、日本言語聴覚士協会初代会長の藤田郁代先生より「わが国の言語聴覚分野の歴史からみた未来へのメッセージ」というテーマでご講演いただきました。言語治療の歴史や国家資格になるまでの歩みから言語聴覚士としてのあるべき姿をお示しいただきました。

また、一般演題には395題もの応募をいただきました。各会場において日頃の研究成果のご発表や活発な質疑応答がなされ、大会全体が熱気に包まれた2日間となりました。

今大会を通じて学び、感じたことを種に大きな花を咲かせていただけるよう研鑽に努めていただければ幸いです。

最後に、第20回大会という記念すべき大会を開催させていただきました会員の皆様、学会にご参加いただきました皆様、機器展示にご参加いただきました企業様各位、そして学会運営にご協力いただいた全ての方々へ心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

第21回 日本言語聴覚学会のご案内

第1報

令和2(2020)年6月19日(金)・20日(土)に、茨城県つくば市において『第21回日本言語聴覚学会inいばらき2020』が開催されます。2020年といえはTOKYOオリンピック! 記憶に残る年に学会を主催できることを嬉しく思います。次回大会に向けAll茨城! をコンセプトに“県内ST全員が何らかの形で関われる学会”創りを目指しています。学会テーマ『**未来につながる言語聴覚療法に向けて～学びの芽生えと知の開花～**』も会員投票で決定しました。未来を拓いていく「学び」とは何か。現在、実行委員会を中心にプログラムの構成に取り組んでいます。盛会のうちに閉幕した大分大会で、茨城大会のPR活動をさせていただき、参加者から次回に望むことや提案など多くの声をいただく事ができました。皆さんに未来を感じてもらい、学びを深めてもらえる学会にするために知恵を絞っているところです。

次回大会まで1年を切り、協会・県士会ともに学会ホームページが開設されています。特に県士会の特設ページおよび、各種SNSでは、会場周辺の情報や学会準備の今! を随時、配信していきます。茨城大会を通し、我々STの未来に向けて、皆さんと共に学びを深められれば幸いです。

全国からのお越しを心よりお待ちしております。

会 期: 令和2年6月19日(金)～20日(土)

会 場: つくば国際会議場



一般社団法人 茨城県言語聴覚士会
水戸メディカルカレッジ 言語聴覚療法学科
学会長 草野 義尊